

教 科	工業（機械システム科）	科 目	工業技術基礎	単 位 数	2
履修学年	1 学年	使用教科書	工業技術基礎（実教出版）	履修年度	令和 2 年度
科目の 目標	工業の各専門分野に関する基礎的な技術と安全な作業について、実際の作業を通して総合的に習得させ、技術革新に主体的に対応できる能力と態度を育てる。				

	①関心・意欲・態度	②思考・判断・表現	③技能	④知識・理解
評価規準	工業技術に興味・関心を持ち、その改善向上を目指して意欲的に取り組む。社会の発展をはかる創造的、実践的な態度を身につけている。	工業技術に関する諸問題の適切な解決をめざして、広いしやから自ら考え、基礎的な知識と技術を活用し、適切に判断する能力を身につける。	工業の各分野に関する基礎的な技術を身に付け、安全や環境に配慮し、ものづくりを合理的に計画し、実際の仕事を適切に処理する技能を身につける。	工業の各分野に関する基礎的な知識と技術を身につけ、工業の発展と環境・資源および、現代社会における工業の意義や役割を理解している。
評価方法	授業中の観察 レポート提出	授業中の観察 レポート提出	授業中の観察 レポート提出	授業中の観察 レポート提出
	作業についての理解度、機械操作の理解度、レポートの内容。作品の完成度、安全に対する姿勢など総合的に評価する。 8名～10名の5班に分かれ、各パートを1年間でローテーションして学習する。			

学期	月	時数	単 元	学 習 内 容	評 価
1 学 期	4	10	安全教育 知的財産教育	知的財産教育	○実習中の観察 ○レポート提出
	5 6	10	電子回路	電圧計・電流計の取り扱い すべり抵抗の取り扱い、キルヒホッフの法則に関する実験、ブラウン管オシロスコープによる波形観測、ダイオード・トランジスタの静特性実験	○実習中の観察 ○レポート提出
	7	10	材料試験	万能試験機 各種硬さ試験 シャルピー衝撃試験	○実習中の観察 ○レポート提出
2 学 期	9 10	10	手仕上げ	低融合金によるキーホルダーの製作 キーホルダー用木型と石膏型の製作 鑄込み後のやすり仕上げ・研磨作業	○実習中の観察 ○レポート提出
	11 12	10	有接点シーケンス	シーケンスボードを用いて基本回路学習 自己保持回路 インターロック回路 信号制御	○実習中の観察 ○レポート提出
3 学 期	1 2 3	10	N C 基礎	N C 旋盤の取り扱い N C プログラム演習	○実習中の観察 ○レポート提出